



41

創立：1984.7.10／証認：1984.8.6

国際ロータリー第2660地区

大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号

ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分／例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：吉羽 潤司／幹事：中森 恭平／SAA：稲垣 良二

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



ロータリーの
マジック

本日の例会

〈第1847回〉 2024年11月19日(火) 本年度第15回

卓 話

クラブフォーラム
特別事業部門

担当：須田会員

●ロータリーソング
奉仕の理想

●ランチタイムミュージック
浜辺の歌

次回の例会

11月26日(火)

次回卓話

高血圧もガンも薄毛も全てここから
体を土台から改善する水の飲み方

講師：株式会社ココンベンテ 代表
shikita lab 所長 式田 知子氏 担当：浅見会員

前回の報告

会長インフォメーション PRESIDENT INFORMATION

会長：吉羽 潤司

去る10月27日にくずはRCの創立50周年式典に参列しました。地元根付きこの10年で会員数を倍の100人超に増強したという素晴らしいクラブでした。10月31日には中ノ島RCの夜例会に出席しました。同席頂いた秀島会員、中森幹事ありがとうございました。野球部の活動をはじめ活発な良いクラブでした。11月2日には新クラブとなる朋友RCの創立記念式典に参列しました。もともとのクラブとの関係などを聞きました。これら3つのロータリークラブを生で見ると、各クラブにはそれぞれ強い個性や歴史があり、クラブ同士の合流合併が難しいことを肌で感じました。ただ将来的にクラブ数が減っていくだろうという予想は変わりませんので、新入会員の増強を最重要としつつ、ロータリー経験のある方にも再入会先として選ばれるクラブである為に、より魅力のあるクラブになる努力と、それを知らしめる発信力を高めていく事が重要だと感じました。

かねてより紹介している加藤諦三氏の「早稲田大学最終講義」の続きです。リチャード・レイヤードというイギリ

スの経済学者が1945年から2000年までのアメリカの幸福度調査を行ったところ、自分の人生を「すごく幸せだ」と回答した割合は、所得の上位25%層では45%、下位25%層では33%だったそうです。注目すべきは、この55年間、アメリカ人の所得は3倍になったにも関わらず、この割合はさほど変化しなかったそうです。また、所得が高いほど幸福度が上がってはいますが、下位層でもそこそこ多くの割合が幸福を感じられている。つまり所得が幸福度に及ぼす影響はあまりないと言えます。コンコルドの刑務所の実地調査から人間関係が幸福度を決めると理解した加藤氏はこの結論に納得したそうです。やはり幸福度の観点では、人間関係を壊す施策は絶対にやってはいけない。貧困の問題にしても、昔は今より絶対的により貧しかった。しかし現在は貧困層が孤立しているから心理的にはよりつらい。幼児虐待の問題にしても必ずしも悪い親が虐待しているのではなく、むしろ規範意識は高いが、孤立してしまっている親が虐待をしているケースが多いと主張されています。

(2ページに続く)

ロータリー財団月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「Refine より良いクラブへ」

(1ページより)

こうした事を聞くと、日本社会ではここ数十年に核家族化が進んだことが要因として大きく、その背景に特に大企業の単身赴任に見られる人事異動を拒否できないような労働環境が大きく影響しているように考えられます。

これからは労働力不足、働き方改革でこの点は解消方向に向かうだろうと思われませんが、皆様はいかがお考えになりますでしょうか。

幹事報告

幹事:中森 恭平

みなさん、こんにちは。

本日は40周年実行委員長の津野会員お休みですので私から報告申し上げます。

ようやく事業テーマが決まりました。

メインテーマ「いのちを未来へ、絆ぐ挑戦」

サブテーマ「Passion & Challenge」

10年後、次の50周年に向けて青少年の育成や鶴見地区の発展、クラブの強化を見据えたテーマとなっております。

今後の予定

12月13日実施のクリスマス家族例会、申込みが11月26日までです。

今回も子供向けのプレゼントやバルーンアーティストもご用意してございます。

是非ご家族お声がけの上ご参加くださいませ。

よろしくお祈りします。

国際交流基金運営委員会報告

委員長 秀島 博規

去る10月22日16時から日本語作文コンクールの表彰式を行いました。

それに先立ち、15時から磯田副センター長のご案内で、日本語学習センターの授業を参観させていただきました。初めての試みで興味深く、クラス別の特色が良く分かりました。

当日の様子は作文と共に当クラブホームページにアップされています。トップページから作文コンクールのタイトルをクリックでリンクします。

是非、昨年度以前のコンクールと併せて覗いてみてください。

カイツブリ会

委員長 稲垣 良二

10/26に開催したカイツブリ会について、9名の方の参加を頂き、山崎さんが優勝でした。

次回は、3/18 祝日週で例会の無い火曜日に計画しますので、皆さまご予定下さい。

NIKONIKO箱

¥20,000.-

累計 ¥230,000.-

- 赤井会員 11/19創業記念日です！
22年目 更に頑張っていきます!!
本年 新規事業をしっかりと立ち上げます。
- 稲垣会員 本日、会社創立記念式典でしたが、サボって例会来ました
- 西野会員 長期欠席おわび
40年在籍賞ありがとうございます
- 田中(信)会員 H.C10回連続出席賞ありがとうございます
- 山崎会員 遅くなりましたが、カイツブリ会、優勝させていただきました。天候に恵まれ、パートナーに恵まれ、運に恵まれ…
2回のニアピン賞で500円玉もいただきました。稲垣部長、お世話になりました!!
- カイツブリ会 賞金の残りです

大阪鶴見RC国際交流基金

¥15,000.-

累計 ¥89,000.-

- 秀島会員 10月22日の日本語作文コンクールの様子が当クラブのホームページに上がっていますので、是非ごらん下さい。
- 中村会員 ホームクラブ10回連続出席 自祝
- 西野会員 満85才に成りました
これからもよろしく



在籍40年 表彰

出席報告

11月12日【1845回】

会員数	27名	ビジター	1名
(内出席規定免除)	8名	ゲスト	0名
出席会員	18名中 11名	出席総数	16名
出席免除会員	8名中 4名	前々回	M/U 2名
休止会員	1名	修正出席率	10月22日 73.91%
出席率	68.18%		

犬と人間

担当: 赤井会員

- 犬と人間との関わりの歴史は驚くほど古く、約40万年前～15万年前の旧石器時代
- 1000年人間の歴史は遅れていた
- 犬の祖先はユーラシア大陸と北アメリカに生息するタイリクオオカミという種のオオカミです。(タイリクオオカミと犬のDNAはほとんど同じ。)

約40万年前から15万年前には、既にオオカミは人と暮らしていたようです。

旧石器時代の遺跡から、オオカミの骨が見つかります。

その後、約1万2000年前から3万5000年前の遺跡では、犬らしき骨が住居跡から発見されています。
- 人間と一番古いつきあい(最新のDNA研究で明らかに)イヌの家畜化=約1万1000年前(氷河期末期)→人類が初めて家畜化した動物がイヌだった!
- 人より野生動物の数のほうが多い時代。人は肉食動物に注意して生活。良い道具もなく、狩りの成功率も低く、なかなか人の数を増やすのが難しいような状況でした。

オオカミと人が暮らすようになったきっかけは「1頭の好奇心旺盛なオオカミが人に近づいた」こと。人の残飯を目的に人の集落に住み着くようになり、人はオオカミの有用性に気づきます。
- 猿が人に進化する過程で、ネアンデルタール人とホモ・サピエンスが同時代に存在していた時代がある。しかし、肉体的に屈強だったネアンデルタール人が絶滅して、弱かったホモ・サピエンスが生き残った。。。人類学上の大きな謎とされています。
- 人類が生き延びることができたのは、犬と暮らしていたからという説。
- 犬とともに狩猟をすることで狩りが効率化され、食料に不自由しなかったため、厳しい氷河期を乗り越えることができた。事実、最も古いと推測される飼い犬の骨は、マンモスの化石のそばで発見されることが多いのだとか…。一方、ネアンデルタール人の骨の近くからは、犬の化石は見つかっていない
- オオカミは優れた嗅覚と警戒心を持っているため、他の動物が近づいた時にすぐ察知することができますし、優秀なハンターにもなります。オオカミはオオカミで、人から残飯をもらえれば積極的に狩りをする手間がかからなくなるため、お互いの利害が一致した。

- 共に暮らすうえで、従順で攻撃性が低いというのは重要なポイント。オオカミよりも従順で穏やかな「犬」という存在は、人が交配に使う個体を選別し続けたことで生まれた(仮説)
- 犬という相棒によって狩りの効率が上がり、人間の生活は徐々に変化。狩猟文明から → 農耕文明へ
- 牧畜や農業を営むようになると、土地ごとに人の生活スタイルも変化するため、共に暮らす犬も改良。人の生活スタイルが変わったことで、犬も狩猟のパートナーから一転、番犬や牧畜犬としての役割を持つように。
- 食事は人間から与えられるため、肉食から雑食に草や穀物をしっかり消化できるよう、犬の腸はオオカミよりも長くなり進化
- 日本では、犬と暮らすようになったのは奈良時代や平安時代。

ただ当時は、人を楽しませるサーカスの動物的存在。本格的な犬のペット化が進んだのは、動物愛護の先駆け五代将軍徳川綱吉「生類憐みの令」が出された江戸時代以降。
- 80%、人間と犬はDNA一致
- ヒトとイヌの遺伝子を調べ、複数の遺伝子グループが何千年にもわたり並行して進化していたことを発見。
- 人間には「犬を飼う遺伝子」が存在する。
- 犬は人間の心を理解する。飼い主とイヌとの間で、同調した心拍変動が認められた。

飼育期間が長くなることで、この同調率が上昇した。(メスのほうがオスよりも同調)

遺伝的なものよりも生活空間の共有が重要であるという理論。ペットと一緒に暮らしている高齢者は、要介護や死亡のリスクが減る。ペットから受ける癒しなどによって健康寿命が延びる。犬だと散歩に連れていくという行動で、体力アップや新しいコミュニケーションの活性化
- 犬と暮らす乳児は免疫力が高まる。実は乳児期に犬や猫を飼うと、呼吸器疾患やアレルギー発症の予防効果がある。(下のグラフを参照)。清潔過ぎる環境で育つよりも、ペットが持つさまざまな菌に触れることで、免疫力が向上し、病気になりにくい身体になる。
- 結論!

犬と暮らすと寿命が延びる。ペットの飼い主は、身体活動、食生活、血糖値、喫煙においてより理想的であり、心血管疾患のリスクが低く、犬の飼い主でより傾向が強い。一人暮らしの単身者の場合、犬を飼っていない人よりも犬を飼っている人の方が死亡するリスクが33%下がり、心筋梗塞のリスクは11%低かった。

Rotary



www.rotary.info

ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

ロータリーソング

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
that spells Rotary
R-O-T-A-R-Y, is known on land and sea
From North to South, from East to West
He profits most who serves the best
R-O-T-A-R-Y,
that spells Rotary

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー

我らの生業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー

それでこそロータリー

どこで合っても やあとのおうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱい友情深め
肩組んで 謳おう
われらが ロータリー